

裾野市立南小学校

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年5月30日(木)

出前授業レポート

「縄文時代に弓矢が発明されたこと、動物がすばしっこいからやりではなく弓矢になったこと、狩猟の大変さや難しさを体験できて本当にためになりました。」

裾野市立南小学校の6年生40人が、社会科の歴史授業で、縄文時代の狩猟の様子や大変さを実際に体験することで、より学習を深めることを目的に、狩猟(弓矢)体験を行いました。

弓矢体験



旧石器時代はやりを使い狩猟をしていましたが、縄文時代になると、小動物の出現でやりよりも操作性や飛距離のある弓矢を使うようになったことを説明しました。矢の先は、黒曜石などの鋭い石を使用していたことを伝えると、子どもたちは興味深く聞いていました。

次に、弓矢の使い方を伝えた後、的目がめて矢を射りました。回数を重ねていくとだんだん上手になり、的に当たる子どももいました。

「思っていたより難しく、昔の方が狩りが上手なんだと思いました。」

「今の人は使っていないから、縄文時代の方が弓の使い方が上手なんだと思いました。」

「昔の人は、獲物を捕るのに弓矢の方向を定めるのが上手だと思いました。」

「昔の人は狩りをしているんだと思った。」



先生も挑戦!

先生方の感想

「縄文時代の狩猟の大変さや難しさを体験できて本当にためになりました。今回ちょうど、縄文・弥生時代のあたりだったので、子どもたちはとても食いついていました。10人が同時に活動することが出来て、スムーズに進められました。体験用具をたくさんもってきていただき有難かったです。縄文時代に弓矢が発明されたこと、動物がすばしっこいからやりではなく弓矢になったこと、体験の注意事項など、すべて適切に対応いただき有難かったです。」

